

セーフティーケア カンファレンス 聴講参加申込書

必要事項をご記入の上、右記番号に
FAXをお送りください。

▲ FAX **06-6762-7894**

ふりがな	
参加者氏名	
勤務先名	
職種	
住所	
TEL/FAX	

※申し込みは1枚につき1名です。

※必要事項はすべてご記入ください。記入なき場合、参加をお断りする場合があります。

※時間・科目・講師に関しては、都合により変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※参加費には、お弁当は含まれません。

ご持参頂くか近隣の飲食店をご利用ください。

※参加を受け付けた方には、FAXにて受講票を送付いたします。当日ご持参ください。

※受講票に記載いたします振込先をご確認の上、参加費を事前にお振込みください。振込手数料はご負担ください。

お振込みの確認ができなかった場合、参加できませんのでご注意ください。

※領収書は当日、受付時にお渡します。

※懇親会費は当日受付にてお支払いください。おつりのなきようご注意ください。

参加を希望する研修の枠に○を付けてください。

聴講参加

4,000円

懇親会参加

5,000円

※懇親会費は別途費用となります。

詳細は関西シルバーサービス協会のホームページからご確認頂けます。

<http://kansil.jp>

関西シルバー

検索

聴講申込
お問い合わせ

公益社団法人 関西シルバーサービス協会

事務局 丸山

〒542-0065 大阪市中央区中寺1丁目1-54 TEL **06-6762-7895** FAX **06-6762-7894**

2016.10.MC110.5000.PAC

セーフティーケア

Safety Care Conference

カンファレンス 2016

～ 安全な介助を考える会 ～

聴講者募集

2016.11/26^土・27^日

<会場>

大阪市社会福祉研修・情報センター 大阪市西成区出城2-5-20

<募集定員>

聴講/100名

腰痛予防指針の改訂など医療機関、高齢者施設で腰痛の問題は注視され、多くの施設や病院で様々な取り組みがなされています。

この度、看護・介護職の腰痛をなくすため、組織的な問題解決の取り組み、自施設の成功事例・課題など提示や提案を行える場として「セーフティーケアカンファレンス2016(旧SPH・Jカンファレンス)」を開催する事と致しました。

安心・安全な職場環境やケアの手順化、健康管理の腰痛予防対応の実施など様々な取り組みについて介護・看護に携わる幅広い方々に職種を問わず、多くの方々からの演題発表・聴講の参加のご登録をお待ちしております。



<主催> (公社) 関西シルバーサービス協会/JASPAリフト関連企業連絡会

<後援> (公財) テクノエイド協会 / (公社) 大阪府看護協会 / (公社) 大阪府理学療法士会 / (一社) 大阪府作業療法士会 / (一社) 日本ノーリフト協会 / (一社) 京都府介護福祉士会 / (一社) 和歌山県介護福祉士会 ※順不同

セーフティーケア カンファレンス 2016

プログラム

11/26
土曜日

- 10:00 受付
- 10:30 開会
- 10:40 特別講演① ～介護リフトの開発とこれからの普及～
株式会社モリトー 代表取締役
森島 勝美 氏
- 11:40 昼食・展示場見学
- 12:40 特別講演② ～徒手介助に安全な方法はない～
森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授
上田 喜敏 氏
- 14:00 休憩・展示会
出展各社プレゼンテーション及び体験会
- 15:30 事例発表① (3演題予定)
- 16:20 まとめ
- 16:35 終了
- 17:30 懇親会(参加費 別途)

11/27
日曜日

- 9:30 受付
- 10:00 基調講演 ～利用者、職員の双方に優しいケアを実践する地域づくりに向けた取り組み～
チーム高知の皆様
- 11:00 事例発表② (3演題予定)
- 11:55 昼食・展示場見学
- 12:45 機器を使っの演習及び体験会
テーマ別演習(入浴・排泄・ベッド移乗・リハビリ)の使い方を体験
- 13:30 休憩・移動
- 13:40 事例発表③ (4演題予定)
- 14:55 まとめ
- 15:10 閉会

基調講演

11/27
日曜日

高知家からの発信

～利用者、職員の双方に優しいケアを実践する地域づくりに向けた取り組み～

高知県では、安定した福祉介護人材確保と、自立支援・二次障害予防のために抱えあげないケアを普及させるために官民一体となり『環境整備(福祉用具の導入)』『知識・技術の普及』『モデル施設作り』などに取り組んでいます。今回、行政からの報告として高知県地域福祉部、研修の取り組みとして高知県福祉研修センター、地域ネットワーク作りの取り組みとして生き活きサポートセンターうえるば高知から、モデル施設 代表特別養護老人ホームはるの若菜荘から実践報告をさせていただきます。

特別講演

11/26
土曜日

介護リフトの開発とこれからの普及

株式会社モリトー 代表取締役
森島 勝美 氏

国内リフトメーカーとして日本の住環境に適したリフトの開発の経緯など供給者側の立場からお話し致します。また、リハビリテーション用リフトなど今後、リフトが医療・介護の現場で一層活用頂けるための普及についてご提案致します。

徒手介助に安全な方法はない

森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授
上田 喜敏 氏

介護士・看護師が、日常業務で患者/利用者を介助するときに徒手介助を実施しています。様々なエビデンスからボディメカニクスについては物を持ちたりする場合には有効な手段と考えられますが、患者/利用者介助には有効な手段ではありません。海外の最新の情報を交えて皆さまと安全な介助を考えたいと思います。

● 演題発表 11月26・27日

発表施設名	演題名
介護老人保健施設 自彊館	障害者支援施設のリフトに関する問題
久留米リハビリテーション病院	天井走行式歩行訓練リフトの紹介
鳥取大学医学部附属病院	大学病院における福祉用具活用の実際～褥瘡予防の視点からの導入～
永井病院	ノーリフティングケアを学びやさしいケアを目指す取り組み
特別養護老人ホーム いやさか苑	介護用リフト活用の実践における現状と課題2016
合資会社オファーズ	在宅における移乗用具の導入、活用への取り組み
株式会社 ウェル・ネット研究所	リフトのスリングシートを使用した座位姿勢を工夫することで、頸部の緊張の軽減を試みる
株式会社ひまわり	在宅におけるリフト導入によるADLの獲得 ～負担軽減より必要不可欠だったから～
社会福祉法人 よつば会 特別養護老人ホーム 夕凧の里	「認知症入居者に対するスタンディングリフト導入への取り組み ～排泄ケアの向上に向けて～」

※他医療機関・高齢者介護施設より発表がございます。

演習・体験会

2日目には入浴や排泄など使用場面を想定した演習を行ないます。今まで以上にリフトの活用機会に気付くチャンスになります。

出展メーカー

- 株式会社 ウィズ
- 株式会社 ウェル・ネット研究所
- 株式会社 ウェルパートナーズ
- シーホネンス 株式会社
- 新光産業 株式会社
- 株式会社 竹虎
- パシフィックサプライ 株式会社
- パラマウントベッド 株式会社
- 株式会社 モリトー
- 矢崎化工 株式会社
- ラックヘルスケア 株式会社

会場案内

大阪市社会福祉研修・情報センター
大阪市西成区出城2-5-20
TEL : 06-4392-8200

